

徒然なるままに…17

—「思考ツール」と思考のつながり—



平成26年8月5日
白鳥小学校 研修部



「今年の夏は、忙しい。」 夏休みぐらいは、ゆっくりしたいと思う一方、これが口癖になるようなスケジュールを過ごしておられることでしょうか。私は、どうせ忙しいなら、少しでも考えたり、学んだりしてみようと、あれこれと手を出しています。(なかなか、すぐには、ものになる学びにはなりません…。)

先日、大阪で行われた黒上晴夫先生主催の「思考ツール」のセミナーへ出かけてきました。朝から、乗りたい列車に乗り遅れたり、忘れ物をしたり、間違っって急行列車に乗ってしまい、降りる駅の前後の駅を行ったり来たりしたりと、蒸し暑い大阪でいろいろな汗をかいた一日でした。

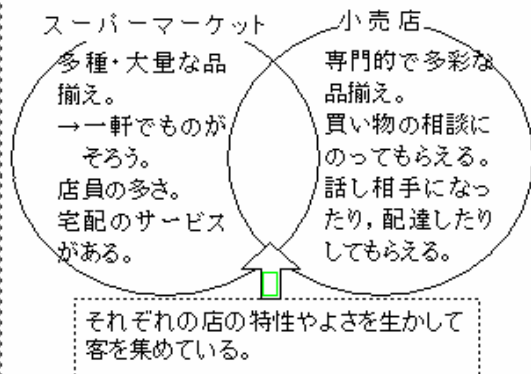
黒上先生は、思考の仕方である「思考スキル」を〈資料1〉のように、19種類示され、思考を促す手立てとして、20数種類の「思考ツール」を考案されています。様々な形に図示して情報を整理することによって、思考する手助けをするものです。(後で、いくつか紹介します。)

順序立てる	変化をとらえる	見通す
比較する(対比・類比)	抽象化する	
分類する	焦点化する	
関係付ける	構造化する	
多面化する	広げる	
理由付ける(原因・条件)	評価する	
推論する		
具体化する	要約する	
応用する	変換する	

思考を仕組むために大切だと感じたことは、次の2点です。

一つ目は、考える方向性を見通すことです。ねらいとつかませたい内容から、何をどう考えさせたいか、その思考を促すためには、どう問うかを明確にすることです。

例えば、スーパーマーケットがあるのに、小売の商店に多くの客が訪れるわけを考える学習では、二つを「比較」し、より専門的で多彩な品揃えやより手厚く地域に密着した接客といったスーパーマーケットにないよさを見つける思考活動を設定することになります。どんな思考活動をすればいいかを考えるものになるのは、教材・内容に基づく「思考スキル」となるのです。



〈資料2:「ベン図」(「わたしたちのくらしと商店」の場合)〉

二つ目は、考えるための情報を集め、組み立てることです。ただ情報を集めるだけでは、思考は、起こりません。ねらいと内容に基づく思考活動に対応して、情報を整理し、組み立てて、思考を手助けするのが上で挙げた「思考ツール」です。

先ほどの学習を例にすると、〈資料2〉の「ベン図」が適するでしょう。それぞれ

の集合の重なり合っていない部分にそれぞれのよさを書いて、小売店にしかないよさを見出していくのです。さらに、「両方の商店で繰り返されていることは、何か。」と問うことによって、店の特性やよさを生かして、客を集める工夫をしているという商店の本質に気付くことができます。

一方、〈資料3〉の「ピラミッド図」を使うと、小売店の特徴から、小売店にしかないものへとステージアップさせ、それらが客を集めているというように、小売店の特徴からよさへと分類→焦点化することができます。

このように、頭の中の情報を整理し、情報だけでは見えなかったことを可視化することによって、思考を促す道具がこの「思考ツール」なのです。

ただし、大切なのは、「思考ツール」と思考のつながりを考えることです。「思考ツール」は、道具です。言い換えれば、モデルであり、形です。これをHow to的に授業に取り入れただけでは、適した思考を展開することができません。「思考ツール」は、情報を言語化することが要求されていますので、子どもは、恐らく、考え、活発に発言するでしょう。しかし、その思考が本時の教材・内容に適していなければ、気付かせたい内容を明らかにすることができず、ねらいを達成することはできません。上で具体的な授業例を示したように、教材・内容の構造とつながりから、どう考えさせればいいのか、その手助けとなる「思考ツール」は、どんな形にすればいいかと、思考を仕組み検討をする必要があると思います。蛇足として言えば、思考の仕組みとプロセスに基づいた活用が「思考ツール」の課題なのかもしれません。

この夏、先生方も、社会科の授業研究を中心に、様々に研修されていることと思います。お一人お一人の学びは、きっと全職員にとっても学びとなるはずで、8月末に全体研や全体研究日が設定されています。これらの場で共有化できたらと思っています。ぜひ、お話を聞かせてください。

暑さと多忙に負けず、夏を乗り切りましょう！

[参考文献として]

- 関西大学初等部『関大初等部式 思考力育成法』さくら社、2012
- 関西大学初等部『思考ツール 関大初等部式 思考力育成法〈実践編〉』さくら社、2013
- 田村学、黒上晴夫『教育技術MOOK 考えるってこういうことか！「思考ツール」の授業』小学館、2013
- 関西大学初等部『思考ツールを使う授業 ～関大初等部式 思考力育成法〈教科活用編〉～』さくら社、2014

